

科目名 Subject	メイクアップ基礎 Basic Make-up		教員名	メイクチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2単位
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	○	○
科目の概要	スキンケアからベーシックメイクアップまでの日常的なメイクアップを中心に実習を行う。道具の使用方 法、化粧品の種類や使用方法などメイクアップを学ぶための基本からはじめ、メイクアップの基本技術を 毎回1項目ずつ学び、フルメイクアップができるまで育成する。フルメイクアップをマスターした後は、 高齢者へのメイクアップ、フォーマルメイクアップの基礎、着物に合わせたメイクアップ等を学び、美容 の現場で必要とされるメイクアップ技術と知識を持った技術者を育成する。				
授業の目標	メイクアップの基礎知識（道具名称、日常メイク、アンチエイジングメイク、フォーマルメイクの手順） を理解し、練習の繰り返しにより技術を身につけ実践できるようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	学生が所有するスマートフォンに教員作成の資料が事前に送られる。各回の授業前にそれらを読み授業の 内容、意味を理解しておく。授業終了後には課題が出されることがあるため自宅でデッサンや、スマート フォンで撮影した顔写真を指定された様式に添付し作品課題として提出する。また各回の講義内容を自宅 で復習し、次回の授業に向けた準備とする。予習と復習、及び課題制作に必要な時間数は合計で約30時 間である。				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	タオル、ティッシュ、コットン、綿棒			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	実技試験25％、筆記試験25％、小課題25％、平常点25％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
	試験の要点について解説を行う。小課題について個別にコメントを返す。				
履修上の注意	出課題は作品のデッサンと写真を提出してもらいます。やむを得ず欠席した場合は各自で作品制作を行い 提出してください。				
本科目履修と 関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	メイクアップの意味を学ぶ。	なぜ化粧をするのかを理解し説明できる。	講義内容を自宅で復習。
第2回	メイクアップの歴史を学ぶ。	日本の化粧の歴史を理解し説明できる。	講義内容を自宅で復習。タブレット内でのクラスルーム参加作業
第3回	スキンケアの意味を学ぶ。	スキンケアの重要性と肌の美しさを理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第4回	スキンケア化粧品の使い方を学ぶ。	何種類ものスキンケア化粧品を使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第5回	ベースメイクアップ化粧品の種類を学ぶ。	ベースメイクアップの重要性と化粧品の種類を理解し実践できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第6回	コントロールカラー、コンシーラーを学ぶ。	コントロールカラーとコンシーラーを使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第7回	ファンデーションを学ぶ。	ファンデーションの種類を理解し、リキッドファンデーションを使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第8回	フェイスパウダーを学ぶ。	フェイスパウダーとそれを使用するための道具を使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第9回	ハイライト、ローライトを学ぶ。	人種による顔の立体感の違いを理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第10回	フェイスプロポーションを学ぶ。	顔の形やパーツの配置を理解し、メイクアップ施術に応用できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。顔写真で自身の特徴を分析し課題として提出。
第11回	アイシャドウを学ぶ。	アイメイクアップの意味を理解し、アイシャドウが使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第12回	アイライン、マスカラを学ぶ。	アイライン、ビューラー、マスカラが使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第13回	アイブロウを描く意味を学ぶ。	アイブロウによって顔の印象が変化することが理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第14回	アイブロウの描き方を学ぶ。	アイブロウを描く道具の種類を理解し、描くことができる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第15回	リップメイクを学ぶ。	リップメイクの道具種類を理解し、描くことができる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	チークメイクアップを学ぶ。	チークカラーによる印象の変化を理解し、使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第17回	メイクアップのバランスを学ぶ。	各パーツのバランスがとれたメイクアップを表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第18回	カラーハーモニーを学ぶ。	色の調和がとれたメイクアップを表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第19回	パーティションのベースメイクアップを学ぶ。	クリームファンデーションが使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第20回	パーティションのポイントメイクアップを学ぶ。	パール、ラメ、つけまつげ、リップグロスが使いこなせる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第21回	着物全般に合わせたメイクアップを学ぶ。	洋装と和装のメイクアップの違いを理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第22回	留袖のメイクアップを学ぶ。	留袖に合わせたメイクアップが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第23回	老化による顔の変化を学ぶ。	美齢学に基づき老化による顔の変化が理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第24回	アンチエイジングメイクを学ぶ。	若々しく見えるメイクアップが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第25回	コンセプトメイクアップの意味を学ぶ。	コンセプトに合わせたメイクアップする意味を理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第26回	コンセプトメイクアップの表現を学ぶ。	コンセプトに合わせたメイクアップが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第27回	アーティスティックなメイクアップを学ぶ。	他者のメイクアップを模写する意味を理解し実践できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第28回	模写メイクアップを学ぶ。	アーティスティックなメイクアップが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第29回	トータルメイクアップを学ぶ。	テーマに合わせたメイクアップが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。実習内容を自宅で反復練習。
第30回	基礎メイクアップ全般の意味を学ぶ。	メイクアップIで学んだこと全般を統合して理解し表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。